



▲▶一生懸命練習を重ねた人形劇を披露してくれました



手稲区くれよん'ず人形劇部 「障害のある子どもたちが よりよい生活を 送っていけるように」

「くれよん'ず」は、知的障害や身体障害のある子どもたちの父母が平成8年に結成したグループです。障害のある子どもたちに放課後や休日をどのように楽しく過ごしてもらうかを考えて活動しています。

昨年5月、札幌で行われた障害者による人形劇団の公演を観賞したのをきっかけに、「できることから挑戦してみよう」と、人形劇部を設立。興味を持っている子どもたちが放課後に集まって練習を始め、12月には初めての発表も行いました。音楽に合わせてかわいい人形を操る劇のほか、人気の絵本を題材にした人形劇が現在のレパートリーです。

今後も楽しく練習を重ねていきながら、機会があればさまざまな場で劇を披露したいと考えています。



◀心いやされる音色の演奏

託児ワーカーズ プーのいえ
「地域の中で大人も子どもも元気に育ちあうために」

活動は有償ですが、営利目的の団体ではなく、低料金の実費で託児を行っています。

家庭の主婦であり子育て中の母でもある女性が広く社会活動に参加し

ている現代、託児を必要とするケースもさまざまです。その多様な需要にこたえるため、集団と個人の両方の託児を行っています。

また、子育てへの支援として、就学前の子どもたちと保護者が親子と一緒に遊び、集団の中の過ごし方を楽しく学んでいけるような集いも実施しています。

ティンカーベル Twinker Bell 「ミュージック・ベルと 子育て」

子育てサークルで知り合った主婦で結成された、ミュージック・ベルの演奏グループです。

子どももお母さんもミュージック・ベルの演奏を通じて元気に成長しているといいます。また、老人ホームを訪れてボランティアで演奏もしています。演奏を聞いたお年寄りも、一緒に口ずさんだり手拍子を取ったりして喜んでくれるそうです。

音楽を通じて、手稲に暮らす子どもからお年寄りまでの幅広い世代の人びとを結ぶ、元気な人づくりを行っていくことが目標です。



▲スライドでの発表後には手あそびの実演もしてくれました

ゆたか東シルバー会

「街づくりと高齢者」

高齢者が元気で健やかに暮らしていくことが、まちを活性化させていくことにつながると、高齢者自身が健康管理の重要性を自覚し、生活習慣上の注意を実践しているグループです。

健康管理には、まず摂生が重要であると説き、禁煙や節酒、適度な運動を呼び掛けているほか、がん予防のための定期健診の受診を推進しています。

また、家へ引きこもらずに地域社会へかかわることを勧め、自分たちも草刈りなどのボランティア活動を積極的に行っています。



▲説得力のある発表でした